

## 品川区長期基本計画の策定状況について

### 1. 「第5回策定委員会」について

(1) 開催日時 令和元年7月19日（金）午後3時～5時

(2) 内 容

新計画における3つの体系骨子のうち「地域」分野について、計画素案のたたき台を事務局より説明し、ご審議いただいた。

(3) 主な意見

- ・地域における助け合い活動を育てていくという福祉的な視点が必要。
- ・生涯学習は、学習した成果を地域の人のために活かすべき。
- ・地域の様々な団体が連携し、多世代交流を推進することが大切で、そのためには中間支援組織の役割が重要となる。
- ・既存の中小企業が、AI等の新技術を取り入れるための仕組み作りが必要。
- ・地域の中心となるのは商店街であるべき。地域を盛り上げるためには、商店街がイベント等を住民と一丸になって実施することが大切。

### 2. 今後の予定

第6回 (1) 開催日時 令和元年8月1日（木）午後1時30分～

(2) 主な審議内容（予定） 素案（たたき台）について

令和元年

7月～9月 策定委員会にて審議

10月～11月 パブリックコメント実施

12月 素案答申（第9回策定委員会）

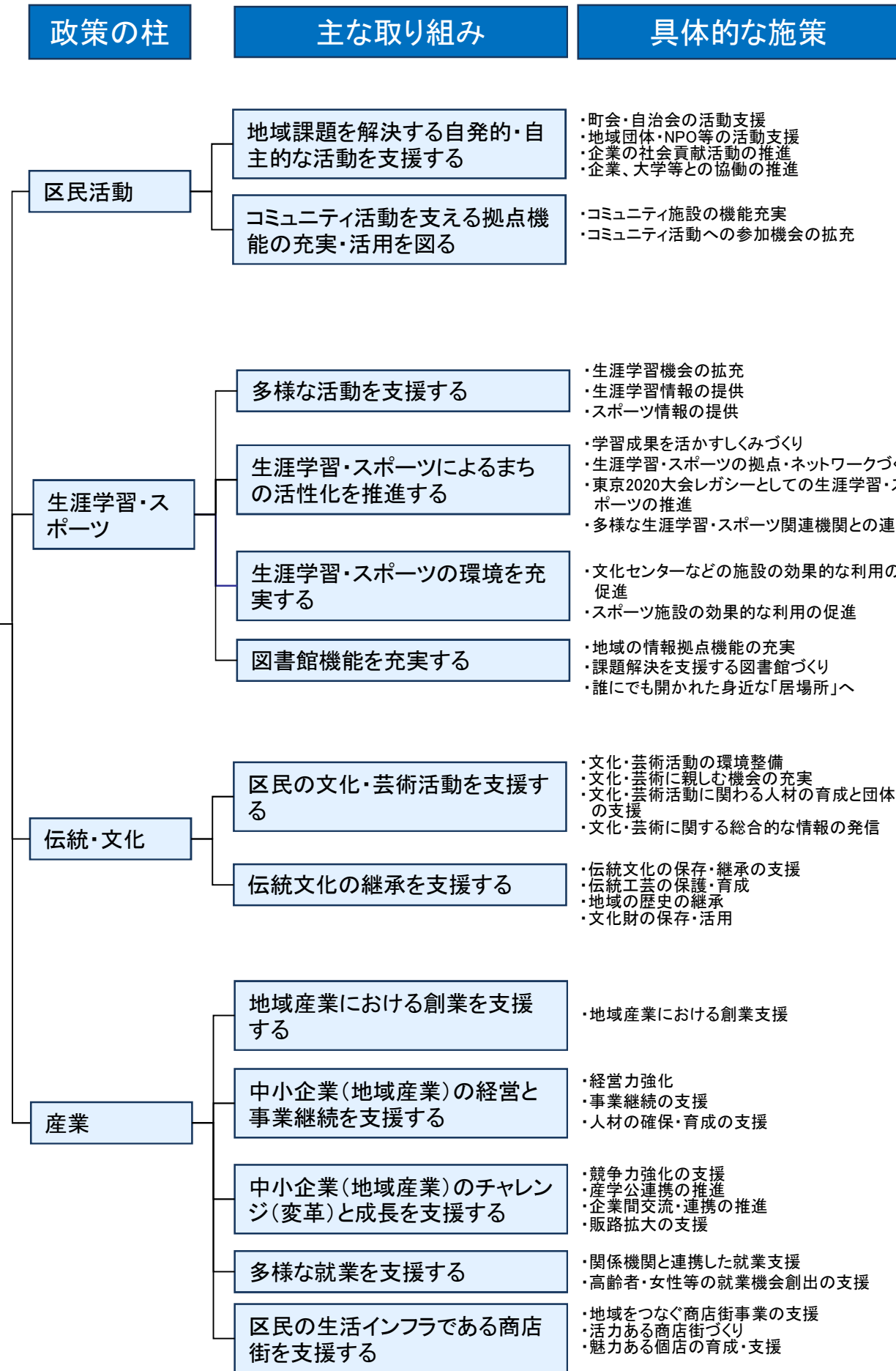
# 品川区長期基本計画 素案たたき台 「地域」

## 目次

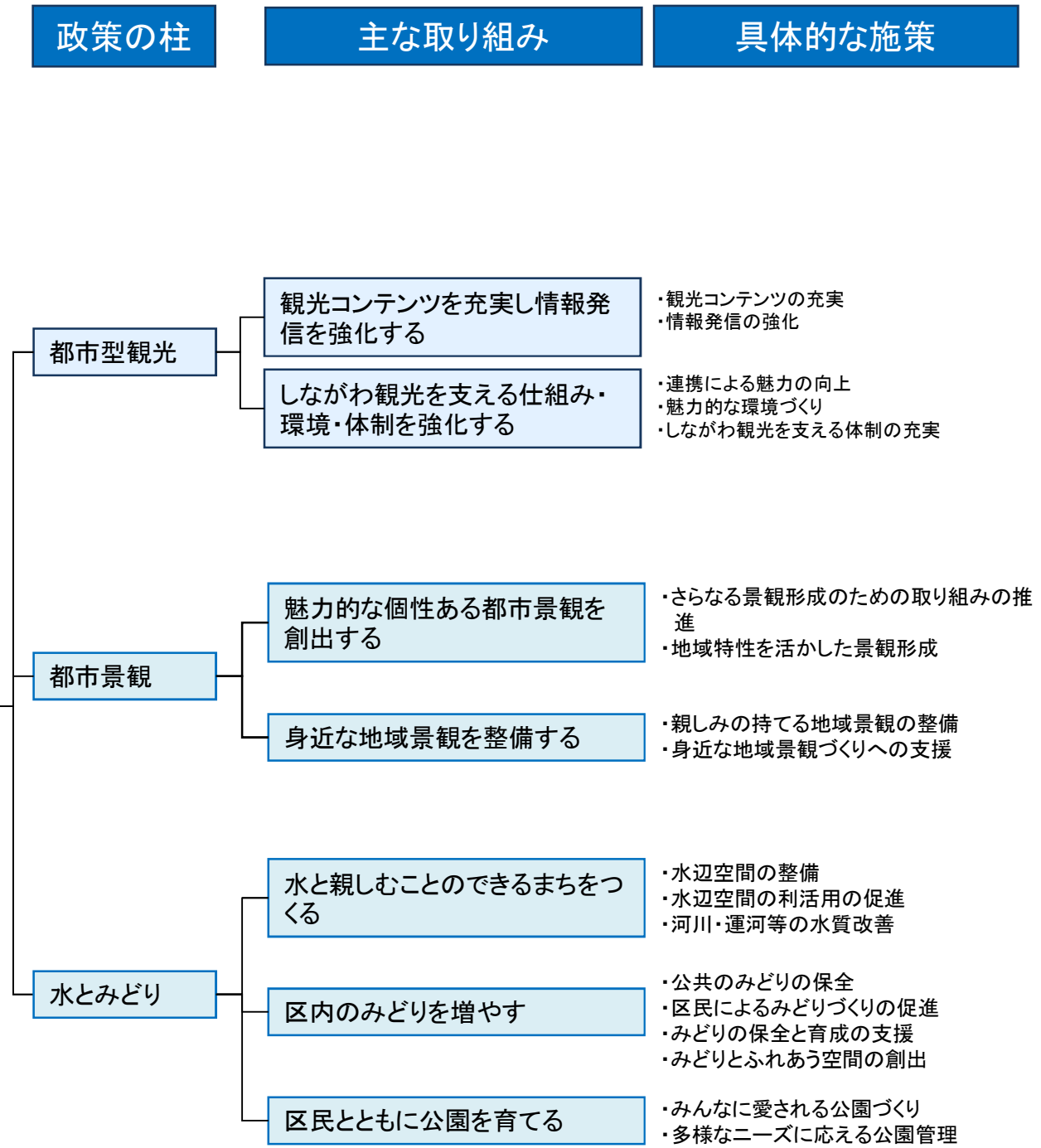
1	体系図	1
2	区民活動	2
3	生涯学習・スポーツ	3
4	伝統・文化	4
5	産業	5
6	都市型観光	6
7	都市景観	7
8	水とみどり	8

令和元年7月  
品川区企画部

地域にぎわい活力



地域にぎわい活力



## 区民活動

### 10年後のめざす姿

- 町会・自治会の活動に多くの区民が参加し、町会・自治会を中心とした地域のつながりがより深まっています。
- 地域の特色や共通のテーマでつながる地域運営組織やNPO、企業、大学等が地域ニーズに応えた活動を積極的に展開しています。
- 地域課題や社会的課題に対し、町会・自治会を中心に、地域で活動する各団体が互いの専門性や先駆性など強みを出し合い、連携・協力して解決に向けて活発な活動を行っています。
- 年齢、性別、国籍を問わず、生活スタイルの違いを超え、全ての区民が気軽に地域活動に参加できる方法や仕組みが構築されています。

### 数値目標

数値目標の内容	基準数値 (令和元年度)	目標数値 (令和11年度)	備考

### 現状と課題

- 区は、平成28年度に「品川区町会および自治会の活動活性化の推進に関する条例」を制定し、町会・自治会の位置づけや役割を明確にするとともに、区の支援、区民・事業者と協力していただきたい事項などを定め、町会・自治会がより力を発揮できるよう継続的な支援を推進しています。
- 一方で、交通の利便性や住みやすさなど、品川区の魅力の高まりとともに、区内各地で行われている再開発事業などにより、新しい住民の転入が続いています。新しい住民の多くは、地域への関わりが総じて弱い傾向にあり、人口の増加に比して町会・自治会への加入や地域活動への参加があまり進まず、地域のつながりの希薄化が見られます。また、町会・自治会の人材不足や高齢化・固定化が進んでいます。
- NPOや社会貢献を行う団体の活動を支援するため、地域振興基金を原資とする資金助成や、すまいるネットの運用を行ってきました。また、区内企業の社会貢献活動を活性化するためのCSR推進協議会や、大学間の連携による地域活動等も活発になってきています。今後は、このような活動の相乗効果を高めるため、コーディネート機能の充実や連携体制の構築が求められています。

### 10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み

#### 1 地域課題を解決する自発的・自主的な活動を支援する

- 地域の課題やニーズに対して、住民自らが責任感をもって解決できるように、地域における様々な主体が強みを活かして連携することを推進します。
- 地域の担い手として期待される商店街や事業者、大学、NPOなどの活動を支援していきます。さらにこうした団体がお互いに連携・協力をしあえる基盤をさらに強固にしていきます。
- 地域住民の親睦や、つながりを深める活動をはじめ、平時の防災活動や災害時の支え合いや子どもたちの健全育成など、様々な分野での地域のニーズに合った活動を支援します。
- ICT（情報通信技術）の活用により、地域活動の情報を容易に取得するだけでなく、新たな地域活動のネットワークを構築していきます。
- 町会・自治会が、各地区内に会館などの活動拠点を有し、その拠点を中心に様々な地域活動団体との協働の輪を広げていきます。
- 地域の歴史や文化を保護・継承する活動を通して、身近な地域の歴史や文化を知ってもらうことで、区民の地域への愛着と誇りを高めていきます。  
(具体的な施策)
  - ・町会・自治会の活動支援
  - ・地域団体・NPO等の活動支援
  - ・企業の社会貢献活動の支援
  - ・企業、大学等との協働の推進

#### 2 コミュニティ活動を支える拠点機能の充実・活用を図る

- 地域の活動が持続的に行われていくために活動拠点の確保の支援など環境の整備を進めます。
- 町会・自治会館や公共施設などに誰もが気軽に立ち寄れるような機能の充実を図ります。  
(具体的な施策)
  - ・コミュニティ施設の機能充実
  - ・コミュニティ活動への参加機会の拡充

## 生涯学習・スポーツ

### 10年後のめざす姿

- NPO やボランティア、区内大学などとの協働・連携が進み、人生100年時代における生涯を通じた学習の機会が提供されています。
- 東京2020大会のレガシーとして、スポーツを「する・みる・ささえる」ことが広まり、年齢や障害の有無にかかわらず、誰もがスポーツを通じて社会参画でき、お互いの違いを認め合える共生社会になっています。
- 「する」スポーツに加え、地域の活性化にもつながる「みる」スポーツへの充実もめざし、施設が整備されています。
- 情報化社会における多様化した区民ニーズに応えた図書館や読書環境づくりが充実しています。

### 数値目標

数値目標の内容	基準数値 (令和元年度)	目標数値 (令和11年度)	備考

### 現状と課題

- 学びの機会の充実に向けて、これまでの生涯学習に関する事業を体系化した、区内の文化センター・大学・史跡などを学び舎とする「しながわ学びの杜」を開設し、多様なニーズに応える多彩な生涯学習講座を提供しています。
- 生涯学習を通じて、区民一人ひとりが新たな知識を習得し、地域を超えた新たなつながりが形成されており、より気軽にいつでも参加できる機会の場を提供することが重要です。
- 東京2020大会を契機として区民のスポーツへの関心は高まっている一方、スポーツをしない人へのスポーツの広がりが求められています。
- 「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」スポーツ・レクリエーションに親しむことができる、地域の、地域による自主運営の地域スポーツクラブを区内全域に設置してきました。これからは、地域スポーツクラブの認知度を高め、住民の身近なスポーツ拠点として機能を発揮していくことが求められています。
- 地域スポーツクラブでは、地域の障害のある方と交流をしながらスポーツを楽しむ取り組みが進んでいます。地域共生社会の実現に向けて、こうした取り組みを区内全域に展開し、誰もが気軽にスポーツに触れられる環境を整備することが求められています。

### 10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み

#### 1 多様な活動を支援する

- 年齢や障害の有無にかかわらず生涯に渡り、誰もが学習・スポーツに触れ、親しめるしくみづくりを進めます。  
(具体的な施策)
  - ・生涯学習機会の拡充
  - ・生涯学習情報の提供
  - ・スポーツ情報の提供

#### 2 生涯学習・スポーツによるまちの活性化を推進する

- 新しい知識や技術を習得し、さらに学習成果を地域に還元することで新しいつながりが生まれるような活動を広げます。
- NPO やボランティア、区内大学などと協働・連携をした取り組みを進めます。  
(具体的な施策)
  - ・学習成果を活かすしくみづくり
  - ・生涯学習・スポーツの拠点・ネットワークづくり
  - ・東京2020大会レガシーとしての生涯学習・スポーツの推進
  - ・多様な生涯学習・スポーツ関連機関との連携

#### 3 生涯学習・スポーツの環境を充実する

- 文化センター、図書館、スポーツ施設、品川歴史館など施設の改修等を計画的に行います。
- 地域のにぎわいや産業活性化にもつながる「みる」スポーツの充実も目指し、施設の整備を進めます。  
(具体的な施策)
  - ・文化センターなどの施設の効果的な利用の促進
  - ・スポーツ施設の効果的な利用の促進

#### 4 図書館機能を充実する

- ニーズに応えた取り組みや施設整備を行います。
- 図書館を利用していない方や来館できない方、読書活動を身に付けるべき子どもたちに対して、図書館の有用性を広くアピールする事業やレファレンスなどのサービス強化に取り組みます。  
(具体的な施策)
  - ・地域の情報拠点機能の充実
  - ・課題解決を支援する図書館づくり
  - ・誰にでも開かれた身近な「居場所」へ

## 伝統・文化

### 10年後のめざす姿

- 文化・芸術活動の発表の機会や多様な文化・芸術に触れる場の提供により、幅広い文化・芸術や価値観を知り、親しめる環境が整備されています。
- 未来に向けた子どもたちの夢や人材の発掘・育成が進み、世界に向けた人材を輩出できる環境が整っています。
- 区の歴史や伝統文化、伝統工芸、文化財等が次世代に円滑に継承されているとともに、その価値を広く区民に伝えられるような効果的な活用を行っています。

### 数値目標

数値目標の内容	基準数値 (令和元年度)	目標数値 (令和11年度)	備考

### 現状と課題

- 区民が気軽に参加し、芸術に触れ親しむ機会として、品川区民芸術祭を開催しています。また、文化・芸術事業を一層充実していくことを目的として、品川区文化芸術振興協議会を設置しています。
- 他分野との連携による総合的な文化・芸術の振興が求められており、既存の活動の支援を行うとともに、分野横断的な団体間の連携や文化・芸術に無関心な層の取り込みなどすそ野を広げる事業展開が必要です。
- 区の資源である、劇場・能楽堂など数多くの文化・芸術施設の活用等を通じて、区民が文化・芸術にふれ親しむ機会を拡大し、環境を充実することが求められています。
- 日本考古学発祥の地として知られる大森貝塚をはじめ、縄文から近世までの多数の文化財や国の重要無形民俗文化財である江戸の里神楽などが存在しています。これらを後世に確実に保存・継承していくことが重要です。

### 10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み

#### 1 区民の文化・芸術活動を支援する

- 「品川区文化芸術振興協議会」をはじめ文化関係団体や観光・産業・福祉など他分野の関係団体との連携や協力を進め、ネットワーク形成を促し、区民が気軽に文化・芸術にふれ親しむための環境を整えます。
- 気軽に文化・芸術にふれ親しむ機会を増やすことを通じ、文化・芸術の継承と発展、創造を担う人材の発掘や育成を行います。  
(具体的な施策)
  - ・文化・芸術活動の環境整備
  - ・文化・芸術に親しむ機会の充実
  - ・文化・芸術活動に関わる人材の育成と団体の支援
  - ・文化・芸術に関する総合的な情報の発信

#### 2 伝統文化の継承を支援する

- 品川区に受け継がれてきた伝統文化・芸能や伝統工芸に関する活動に対して様々な支援を行い、継承・普及・発展を推進します。
- 美術品などの文化財を含めた指定文化財の保存、公開、活用に取り組みます。
- 子供たちを含めた多くの区民が伝統文化や伝統工芸にふれ親しむ機会を設けます。
- 区民に品川の歴史を知ってもらい、品川への誇りと愛着を育む機会を設けます。  
(具体的な施策)
  - ・伝統文化の保存・継承の支援
  - ・伝統工芸の保護・育成
  - ・地域の歴史の継承
  - ・文化財の保存・活用

## 産業

### 10年後のめざす姿

- 「起業するなら品川区」といったブランドイメージが形成されるなど、区内で起業する人が増え、産業の活力を生み出しています。
- 区内中小企業が地域産業の担い手として引き続き重要な役割を担う中、高い技術力を誇る製造業と、区内への集積がさらに進む情報通信業・ベンチャー企業などが、産業間での交流・連携を深め、さらなる技術革新と新たな製品・サービス開発を進めています。
- 区内企業において、高齢者や障害者、女性、外国人など多様な人材が活躍しています。
- 生活インフラである商店街が地域の人が行き交う交流の場所として活性化しています。

### 数値目標

数値目標の内容	基準数値 (令和元年度)	目標数値 (令和11年度)	備考

### 現状と課題

- 品川区は国内外へのアクセスに恵まれ高いポテンシャルを有する地域であるとともに、日本のものづくりを支えてきた高い技術力を誇る製造業が立地しているほか、新しい情報通信業の集積、魅力ある商店街の存在など、他の地域にはない産業特性を有しています。
- 区はこれまで、区内中小企業の経営力強化のほか、創業支援センターや新産業・新ビジネス創出を目的とした品川産業支援交流施設（SHIP）を運営するなど地域における創業や区内中小企業の成長を支援しています。また、後継者不足等の課題に直面している区内中小企業の支援として、事業承継支援事業を実施しています。商店街については施設環境の整備や、商店街イベントの支援、個店のPRなどハード・ソフト両面の支援を行っています。
- 産業構造の変化やAI（人工知能）やIoT（モノのインターネット）等の新たな情報通信技術の進展、人材不足、経営者の高齢化、後継者不足等、区内産業を取り巻く環境は大きく変化しており、区内中小企業や商店街もこうした環境変化に積極的に対応していくことが求められています。

### 10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み

#### 1 地域産業における創業を支援する

- 品川産業支援交流施設（SHIP）などの創業支援施設を活用するなど、創業準備期から創業期、その後の事業展開などそれぞれの成長段階に応じた継続的な創業支援を行います。  
(具体的な施策)
  - ・地域産業における創業支援

#### 2 中小企業（地域産業）の経営と事業継続を支援する

- 地域産業の経営基盤の強化を支援するとともに、産業構造の変化などに応じた区内中小企業の経営力の強化や事業継続への取り組みを強化していきます。  
(具体的な施策)
  - ・経営力強化
  - ・事業継続の支援
  - ・人材の確保・育成の支援

#### 3 中小企業（地域産業）のチャレンジ（変革）と成長を支援する

- 区内中小企業が高い付加価値を生み出し続けることができるよう、ニーズや規模、成長ステージに応じた技術面、資金面などの支援を行います。
- 企業と企業、企業と大学・研究機関等をつなげることにより、新しい価値、イノベーションの創出を促進します。  
(具体的な施策)
  - ・競争力強化の支援
  - ・産学公連携の推進
  - ・企業間交流・連携の推進
  - ・販路拡大の支援

#### 4 多様な就業を支援する

- 関係機関と連携し、高齢者や障害者、女性、外国人などの未就業者への就業支援を行います。  
(具体的な施策)
  - ・関係機関と連携した就業支援
  - ・高齢者・女性等の就業機会創出の支援

#### 5 区民の生活インフラである商店街を支援する

- 商店街や商店街と地域団体等との連携によるにぎわいを創出する事業に対し支援を行います。
- 魅力ある個店の支援をはじめ、商店街の新たなチャレンジについても支援を行います。  
(具体的な施策)
  - ・地域をつなぐ商店街事業の支援
  - ・活力ある商店街づくり
  - ・魅力ある個店の育成・支援

## 都市型観光

### 10年後のめざす姿

- 魅力ある水辺を活用した観光が盛んになるとともに、新たな観光資源の発掘・形成が進み、賑わいが創出されています。また、歴史的な名所旧跡、地域のお祭りや伝統文化、活気ある商店街などを活かした観光が広がり、観光客の多様なニーズに応えています。
- 地域の関係団体や民間企業との協働・連携による取り組みが進展し、快適に「しながわ観光」を楽しめるコンテンツが充実しています。また観光スポットにおける区民の「おもてなし」により、外国人観光客が増加しています。
- 多様な交通手段とサービスの連携（MaaS）により、手軽で便利にまちめぐりができる環境が整い、観光客や区民が快適に区内回遊を楽しんでいます。

### 数値目標

数値目標の内容	基準数値 (令和元年度)	目標数値 (令和11年度)	備考

### 現状と課題

- 品川区には単独で強力な集客力をもつ資源が存在せず、地域の歴史や伝統が感じられる小さな資源が多く点在しているため、これらの魅力をテーマごとに横断的に束ねて効果的にアピールし、知名度の向上を図ることが重要です。
- 目黒川や天王洲アイランド、勝島運河等の多様な水辺が貴重な観光資源であるが、知名度が低く、水辺利活用のための環境整備や活動団体間の連携が課題となります。
- 品川区都市型観光プランを策定するとともに、区内の観光事業者、区内団体などの様々な関係団体で構成する「品川区観光推進協議会」を設立しました。今後は、「品川区観光推進協議会」を中心として、区民や周辺自治体など様々な主体との連携・協働による地域の特性にあった観光まちづくりが必要です。
- 外国人観光客が増加する中、しながわ観光大使に榊サンリオのキャラクター「シナモロール」を任命し、国内外に観光PR事業を展開しました。今後は、海外と日本の文化・風習やマナーの相違による様々な問題に対する相互理解の促進が必要です。
- 東京2020大会のレガシーを活用したスポーツ観光、文化・芸術観光に取り組んでいくことが必要です。

### 10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み

#### 1 観光コンテンツを充実し情報発信を強化する

- 品川区に対する観光の知名度を上げるため、プロモーションの強化や他との差別化と良質な観光情報の提供を行います。
- 品川らしさに磨きをかけるとともに品川らしい観光スタイルを発信していきます。  
(具体的な施策)
  - ・観光コンテンツの充実
  - ・情報発信の強化

#### 2 しながわ観光を支えるしくみ・環境・体制を強化する

- 観光資源同士や様々な交通手段を繋げての多面的な観光の展開や回遊性の向上、受け入れ体制の整備を行います。
- 関係団体間のより一層の連携体制強化や協働による取り組みを充実させます。
- 観光客をおもてなしする体制を整えるため、観光に対する区民と来訪者の相互理解の向上を図り、様々な観光活動への支援を推進していきます。  
(具体的な施策)
  - ・連携による魅力の向上
  - ・魅力的な環境づくり
  - ・しながわ観光を支える体制の充実



## 都市景観

### 10年後のめざす姿

- 旧東海道品川宿に代表される区内の歴史・自然・文化的景観が維持・保全されているとともに、個性的な商店街や水辺エリア等の地域特性を反映した、快適でうまいのある、区民がやすらぎと愛着を感じる都市景観が形成されています。
- 公共基盤整備や再開発事業と連携して、国際都市東京の表玄関としてふさわしい、まちなぎわいにも資する魅力的な都市景観が形成されています。
- イルミネーションやライトアップによる夜間景観の演出や、目黒川や運河からまちを眺望する景観など、にぎわい創出や水辺利活用事業等と連携して、まちの新たな魅力を生み出しています。

### 数値目標

数値目標の内容	基準数値 (令和元年度)	目標数値 (令和11年度)	備考

### 現状と課題

- 「品川区景観計画」を策定後、地区の個性や特徴を生かした景観ルール（景観形成基準）を取り決めた「重点地区」として4地区の指定を行うなど、区民とともに実効性のある景観形成を推進しています。
- 屋外広告物やライトアップ、案内サインなどは、景観に大きな影響を与える要素の一つであるため、周辺の景観との調和に配慮した基準づくりが必要です。併せて、地域に対する意識啓発や支援制度を充実していくことが必要です。
- まちなぎわいを創出するためには、観光施策と連携した景観まちづくりを進めることが必要です。また、水辺エリアにおいては、河川や運河を活かした景観形成や水面から眺望する景観への配慮が必要です。

### 10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み

#### 1 魅力的な個性ある都市景観を創出する

- 景観計画を策定して10年が経過したため、東京都景観計画との整合性や、重点地区でのさらなる取り組み推進のための規制見直し等を目的とした、「品川区景観計画」の改定を行います。
- 都市計画における様々な方針や手法と連携した景観形成のしくみづくりを構築し、景観計画の効果的な運用を行います。
- 歴史的なまちなみや特色ある商店街などの重点地区化など、地域特性を活かした景観形成を推進します。
- 地域の景観に関する意識啓発・学習の機会の提供や、地域の機運をとらえた景観ルール策定の提案など、景観まちづくりについて地元団体との協働のしくみづくりを継続的に支援していきます。  
(具体的な施策)
  - ・さらなる景観形成のための取り組みの推進
  - ・地域特性を活かした景観形成

#### 2 身近な地域景観を整備する

- 品川区は、公共施設や都市基盤の整備にあたり、景観に配慮した整備を推進していくとともに、地域で行う景観づくりに関する事業等の支援を行うなど、計画的な景観まちづくりを進めていきます。
- まちなぎわいを創出するために、観光や商店街施策と連携した「景観まちづくり」を推進します。  
(具体的な施策)
  - ・親しみの持てる地域景観の整備
  - ・身近な地域景観づくりへの支援

## 水とみどり

### 10年後のめざす姿

- 区民が水辺を身近に親しむことができ、外国人観光客を含めた多くの人で賑わう観光・交流の軸となる水辺空間の整備やしくみづくりが進んでいます。
- 河川・運河の水質改善が推進され、水辺空間が区民生活において、さらに有効な資源として活用されています。
- 区民や企業の自主的なみどりづくりや区民ニーズを捉えた愛される公園が増加し、区民がみどりにふれあえる機会が充実しています。

### 数値目標

数値目標の内容	基準数値 (令和元年度)	目標数値 (令和11年度)	備考

### 現状と課題

- 区内には、東京湾に面して運河が南北に伸びているほか、兩岸に桜並木の続く目黒川が区内の東西を流れるなど豊かな水環境があります。
- 目黒川の舟運・賑わい拠点として五反田リバーステーションを始め周辺の道路・公園が一体的に整備され、川と人、住む人と働く人、地域と来訪者を結ぶ空間が形成されています。
- 水辺において、地域や舟運事業者と連携した水辺空間の利活用の促進が求められています。
- 目黒川や立会川では、浚渫や浄化対策等の実施により水質の改善は見られますが、大雨後等には、白濁化や臭気が発生しています。
- 大崎地区や、荏原地区などの密集市街地では、災害時に一時集合場所となる公園や広場のない地区もあり町会などから公園の設置要望があります。
- 分譲住宅などミニ開発に伴い、屋敷林が減少傾向にあります。
- 保育園の代替屋外遊戯場や社会福祉施設の占用する用地等、公園に求められる機能が多様化しています。

### 10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み

#### 1 水と親しむことのできるまちをつくる

- 区民や外国人観光客等多くの方が身近に水と親しむことができるよう、水辺空間の整備や利活用促進を図ります。
- 区民等が安心して水に親しむことができるよう、河川や運河等の水質の改善を図ります。  
(具体的な施策)
  - ・水辺空間の整備
  - ・水辺空間の利活用促進
  - ・河川・運河の水質改善

#### 2 区内のみどりを増やす

- 公共施設の改修ではみどりの条例に基づく整備を行うとともに、街路樹や緑道の管理、保全を徹底することと、みどりとふれあうためのマイガーデンの運営を進めます。
- 区民のみどりづくりを推進するために、接道部や屋上の緑化助成、ボランティアへの支援、保存樹木や樹林の保全を行い、緑化啓発活動を進めます。  
(具体的な施策)
  - ・公共のみどりの保全
  - ・区民によるみどりづくりの促進
  - ・みどりの保全と育成の支援
  - ・みどりとふれあう空間の創出

#### 3 区民とともに公園を育てる

- 地域住民のライフスタイルに応じた公園や、観光および歴史と文化、更には憩いの拠点となる公園の整備を着実に進めます。
- 区民の多様なニーズに応えるため、多様な手法を用いて公園の整備や管理を進めます。
- 日常的な公園の維持管理を担う自主的な地域のボランティア活動を支援します。  
(具体的な施策)
  - ・みんなに愛される公園づくり
  - ・多様なニーズに応える公園管理